

# ヘルスケア領域のサービスにおける 対話型アプリの可能性

講師

三邊 立彦

株式会社 電通

東北大学特任教授(客員)



これまで各省庁や企業・県などと様々なプロジェクトの制度設計・事業運営に携わる。電通の新しいビジネスの場として、時代の変化に対応し、新時代のリーダーとしての役割を担う「XR 領域」でのビジネス開発を推進している。現在、事業共創局テクノロジー開発部のゼネラルマネージャーとしてヘルスケア・メディカル領域にて活躍されている。

一般の生活者にとって、健康や病気、介護の話は難しく、情報量も多い上、人それぞれ悩み方が異なる中で、知りたい情報、自分に合った情報を探すことは相当難しいものではないでしょうか？内容によっては、例えば相手が医師であっても相談するのが憚られる、恥ずかしいと感じてしまうようなこともよくあることかと思えます。一方で、医師や薬剤師は、治療前に患者さんに普段の生活の中でどのような状況であったかを細かく聞いておきたいというニーズがあります。しかし、日々の業務に忙殺され、なかなか十分に情報を取り切れていない状況にあると思われる。

以上のような課題意識の元、三邊先生はAIチャットボットを活用した対話型アプリに可能性があるのではないかと考え、2つのアプリ開発を進めています。4,000万人のアクティブな高齢者及びその家族のQOLの向上を目指す株式会社 Lyxis と進めている「超高齢化社会を幸せに生き抜く上で、親世代・子世代それぞれが知っておかなくてはいけない知識や生活の工夫に気づきを与えるため、さらに親子間の情報共有やコミュニケーションを促進するための対話型アプリ」と、メンタルヘルス・スペシャリスト大野裕医師と朝日新聞社と取り組んだ「認知行動療法のメソッドに基づいて作ったストレスケアチャットボットアプリ」開発です。

今回の講演では、この2つのアプリサービスの紹介とトライアルの結果や取り組みを通じて得たファインディングなどの解説、また今後のヘルスケア・医療領域での対話型アプリの可能性についてもお話しいたします。

日時

2021. 1. 20 (水) 18:00~19:00

会場

オンラインセミナー (Zoom にて開催)

申し込み

以下 [1] か [2] のいずれかの方法で、1月19日(火)までにお申し込みください

1. 申し込みフォーム：<https://forms.gle/GozkMxGrYP9LAUzZ7>

2. メールに以下を明記の上『1/20 三邊立彦先生講演会参加希望』と題して [takuetsu-asu@crieto.hosp.tohoku.ac.jp](mailto:takuetsu-asu@crieto.hosp.tohoku.ac.jp) へご連絡をお願い致します。

1) 氏名・フリガナ 2) 所属・役職 3) メールアドレス (開催までに参加 URL をお送りします)

◆ 公開セミナーとして開催されますので、どなたでもご参加いただけます



## 未来型医療創造卓越大学院プログラム

共催：東北大学病院臨床研究推進センターバイオデザイン部門

：分野横断型医工学研究プラットフォーム (BASIC)